

原ゆうじ市政報告 VOL.76

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP: hara88.mobi 発行元: 松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965 年松戸生まれ 上本郷
小、松戸六中、立教高校、立
教大学理学部化学科卒。
長瀬産業(商社)勤務を経て
家業のベーカリー店を継ぐ
H22 年市議初当選、
現在 3 期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート 税金の無駄遣いは許さない！ 3 年秋冬号

市立東松戸病院廃止を市が表明！

突然の報道！なんで新聞報道で知るんだよ

8 月 28 日の朝日新聞で、市内 2 つの市立病院の内、許可病床 181 床の市立東松戸病院(松戸市立福祉医療センター)廃止との報道がありました。これまでも存続か否かの議論はありましたが、市から議会への正式な報告は全く何もありませんでした。

まさに寝耳に水！ 市の重要事項をまさか、新聞報道で知るとは、、、前代未聞。詳しく報告します！



設備の老朽化&耐震性にも問題 ➡ 存続には建替えが必須 ➡ 3 年後廃止へ

なぜ？廃止に！ 報道から 3 週間後の 9 月 22 日に、市から正式に令和 5 年度末(令和 6 年 3 月末)で、東松戸病院の廃止が表明され、以下廃止の理由は以下 4 つです。

表 1: 東松戸病院の経営状況

① 進まない経営改善 《*表 1 参照》
医業損益(医業収益ー医業費用)は毎年、4 億円から 7 億円のマイナス。そのため毎年、5 億円程度、市から病院へ繰入をしている状況であること。

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
医業収益	18 億 6327 万円	15 億 2231 万円	19 億 3888 万円
医業費用	22 億 9437 万円	22 億 3284 万円	24 億 647 万円
医業損益	▲4 億 3110 万円	▲7 億 1053 万円	▲4 億 6759 万円

② 建物の耐震性不足: 病棟のある 6 号館は、昭和 43 年の建設で耐震性を示す IS 値は 0.37 で、松戸市の耐震指標 IS 値 0.7 を下回っていること。(国基準は、0.6 未満だと大地震の際、倒壊、崩壊する可能性があるとしている)

③ 建物、施設の老朽化: *外壁の経年劣化*配管の腐食*非常用発電機の老朽化*エレベーターの老朽化など

④ 建替えによる財政負担の増: ②、③から病院存続には建替えが必須だが、約 55 億円以上の費用見込みであること。しかし、建替え積立金は無く、全額を借金で賄わなくてはならず、財政負担が増えること。

東松戸病院廃止で問題はないのか？跡地はどうなる？今後の課題は？

今後の市方針は？東松戸病院の廃止。約 4 万平方メートル弱の跡地は売却。市内唯一の緩和ケア病棟(20 床)は千駄堀の市立総合医療センターの敷地内に新たに建物を建てて移管するとしています。

財政的には廃止やむなし？けど、市方針への課題は？

① 東葛北部で不足している東松戸病院が担ってきたリハビリテーション病棟の回復期や慢性期の病床確保をどうするのか？

② 総合医療センターの医療連携はどうなるのか？③ 地元への医療提供はどうなるのか？④ 地元の意見集約は出来ているのか？

⑤ 総合医療センターは開院以来 600 床の内 44 床を休床しているのに、なぜ新たに緩和ケア病棟を建てる必要があるのか？⑥ JR 市川大野駅から直線距離約 500 m で、開発次第では価値上昇が見込める土地を売却しているのか？など多くの課題、疑問があり、こうした疑問点課題等をまとめ、市に提出、現在返答待ちの状況です。
賛否の分かれるこの問題ですが、疑問解消に務めた上で、しっかりと判断していきたいと思います。



車は通れない道路で17億円！ なぜ？それこそ税金の無駄遣いでしょう！

9月議会、松戸市から提案された議案第25号、馬橋根木内線道路工事について、原ゆうじはこの議案は大きな問題があるとして**反対しましたが、賛成多数で可決**となってしまいました。何が問題？報告します！

工事の内容は？ 正式工事名：松戸都市計画道路3・4・18号線の築造、**契約金額：17億3491万円**
工事延長：170.0m（内、トンネル部分72m）、道路幅員16～19.8m 工期：令和6年3月22日まで

～道路造って車が通れない？不思議な道路工事の主な問題点は？～

その1：3車線の道路が出来ても歩行者、自転車のみ通行可で、車は通れない！

道路は、マツモトキヨシ本社のある道路（3・3・7号線）から南西方向に170m造ることになっていますが、細い道で突き当たり（地図参照）となります。そのため完成しても車の通行は出来ません。

その2：新松戸へのアクセス道路へ接続し、車両通行可能になるのは、早くても令和10年！

市の説明では、新松戸駅へのアクセス道路に接続させるとしています。それは、新松戸区画整理事業がうまくいくことが前提となっています。しかし、区画整理事業は地権者の反対等により先行きは不透明のまま。

仮に、新松戸の区画整理が暗礁に乗り上げれば、この道路が完成しても車は使えないということになります。道路の減価償却費は、年間約2300万円ですので、長引けばこの分、価値は目減りします。**もったいない！**

その3：疑惑の建設目的？緊急車両（消防車、救急車など）は通れるのか？市の説明はいい加減？

市は、**狭隘な道路しかない新松戸駅東側へ緊急車両を通すこと**を建設目的の一つにしています。

しかし、現在でも緊急時の対応はできていることを答弁で確認しています。又、「完成後、緊急車両は、通れるようになるのか？」の問いには、「今後、警察と協議してまいりたい」との答弁。「通れるかどうかの確認もしないで、建設費＝税金投入、するのか？」と市の答弁には怒りとともにあきれられるばかりです。さてこの議案の採決結果は？

**なんで？賛成多数で
議案可決！**

9月議会最終日、採決が行われ、

残念ながら、**賛成多数（賛成29、反対14）**で、この不思議な議案は可決となってしまいました。

賛成議員（公明党、松政クラブ、市民クラブ、松戸未来クラブなど）からは、この地域の将来の発展のために必要な事業との意見が出ましたが、その「将来」がいつなのかが問題なのではないかと思っています。

原ゆうじの考え：財政的に厳しい松戸市で、完成しても車が通れないこの道路が、他の道路建設よりもどうして優先されて造られるのか？が分かりません！又、区画整理事業が長引けば、まさに**宝の持ち腐れ**となりかねません！少なくともアクセス道路完成予定に合わせ4年は待つべきと思います。目的の緊急車両の通行確認もこれからでは、市は税金の重みをもっと考えるべきです！やっぱり、**税金の無駄遣いは許せません！！**



～原ゆうじ市政報告会のお知らせ～

11月21日（日）10時30分～12時 予約不要、無料！

古ヶ崎市民センター2階 TEL070-5540-9565